



2005年度決算説明資料

2006年 4月

<目次>

I . 2005年度決算実績

・決算実績サマリー(1)	4
・決算実績サマリー(2)	5
・税引前利益増減要因	6
・経常利益・特別損益	7
・決算実績 セグメント別	8
〈船舶・海洋〉	9
〈原動機〉	10
〈機械・鉄構〉	11
〈航空・宇宙〉	12
〈中量産品〉	13
〈その他〉	14
・貸借対照表	15
・キャッシュ・フロー,有利子負債	16
・補足資料(1)	17
・補足資料(2)	18

II . 2006年度業績見通し

・業績見通しサマリー	20
・業績見通しセグメント別	21

<補足>

- [単独]2005年度決算実績サマリー
- [単独]2006年度業績見通しサマリー

I . 2005年度実績

決算実績サマリー(1)

(億円)

	'04年度	'05年度	増減
受注高	27,228	29,420	+2,191
売上高	25,907	27,921	+2,013
営業利益	147	709	+561
経常利益	125	503	+378
特別損益	38	20	△ 18
税引前 当年度純利益	163	523	+359
当年度純利益	40	298	+257

決算実績サマリー(2)

受注高 ⇒ 対前年度 2,191億円増加 (27,228億円 → 29,420億円)

- ・収益性をより重視し、得意分野に注力した受注活動を強力に推進し、前年度を2,191億円上回る29,420億円となった。
- ・船舶・海洋部門は減少したものの、大型火力発電プラントを多数受注した原動機部門、海外でのフォークリフトの販売等が好調であった中量産品部門、都市交通システムの大型案件等を受注した機械・鉄構部門が増加したほか、航空・宇宙部門も前年度を上回った。

売上高 ⇒ 対前年度 2,013億円増加 (25,907億円 → 27,921億円)

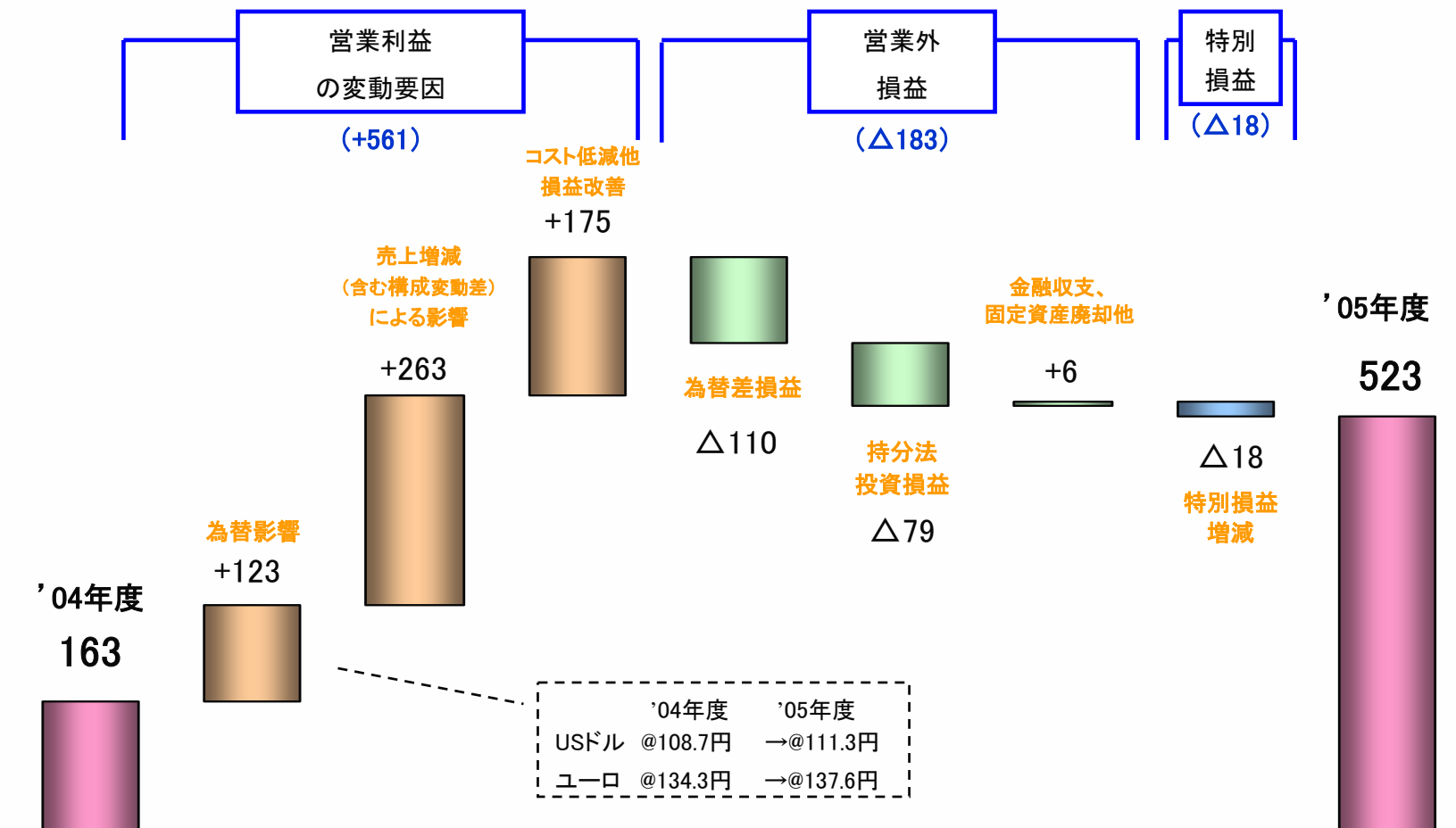
- ・'03年度以降の受注拡大を反映して順調に伸びており、前年度を2,013億円上回る27,921億円となった。
- ・船舶・海洋部門は前年度に比べ、船舶引渡隻数が少ないことにより減少したが、原動機部門が海外向け火力発電プラントを中心に、また、機械・鉄構部門が化学プラントを中心に大幅に増加したほか、中量産品部門及び航空・宇宙部門も増加した。

純利益 ⇒ 対前年度 257億円増加 (40億円 → 298億円)

- ・利益面では、営業利益は709億円、経常利益は503億円となり、前年度をそれぞれ561億円、378億円上回った。
- ・ここ数年の受注活動の成果としての売上増加・プロダクトミックスの改善に加え、工事量増加に対応した生産能力増強をはじめとする生産性向上、品質・信頼性向上活動による製品保証費用の減少、販売費及び一般管理費の削減や製造コスト低減等の採算改善活動を強力に推進したことにより、資材費上昇等の悪化要因はあったものの、前年度を上回る利益となった。
- ・また、特別損益として固定資産売却益、事業改善・再構築に係る特別対策費等を計上した結果、税引前純利益は523億円、税引後純利益は298億円となり、それぞれ前年度から359億円、257億円改善した。

税引前利益増減要因

対前年度 359億円増加(163億円→523億円)



経常利益・特別損益

・経常利益（対前年同期 +378億円（125億円→503億円））

	'04年度	'05年度	増減	
営業利益	147	709	+561	
	為替差損益	16	△ 93	△ 110
	金融収支	△ 55	△ 19	+36
	持分法投資損益	100	20	△ 79
	その他	△ 82	△ 112	△ 29
営業外損益	△ 22	△ 205	△ 183	
経常利益	125	503	+378	

・特別損益（対前年同期 △18億円（38億円→20億円））

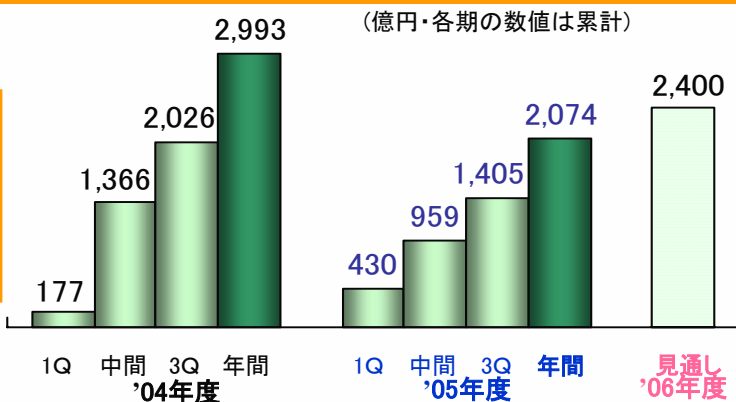
	'04年度	'05年度	増減
・固定資産売却益	103	136	+33
・投資有価証券売却益	157	-	△ 157
特別利益	261	136	△ 124
・事業改善・再構築に係る特別対策費	△ 17	△ 55	△ 37
・PCB廃棄物処理費用	-	△ 43	△ 43
・役員退職慰労引当金繰入額	-	△ 17	△ 17
・製品保証引当金繰入額	△ 108	-	+108
・固定資産減損損失	△ 61	-	+61
・風水災損失	△ 34	-	+34
特別損失	△ 222	△ 116	+105
特別損益	38	20	△ 18

決算実績 セグメント別

	受 注		売 上		営業利益		
	'04年度	'05年度	'04年度	'05年度	'04年度	'05年度	
船 舶 ・ 海 洋	2,993	2,074	2,715	2,226	△ 117	△ 106	
原 動 機	6,914	8,728	6,296	7,109	160	383	
機 械 ・ 鉄 構	4,555	5,158	4,593	5,387	△ 87	23	
航 空 ・ 宇 宙	4,110	4,515	4,079	4,459	87	165	
中 量 産 品	汎 特	3,474	3,866	3,630	3,932	-	120
	冷 熱	1,805	1,910	1,786	1,921	-	2
	産 機	2,198	2,371	2,161	2,197	-	44
そ の 他	1,174	796	643	687	60	75	
合 計	27,228	29,420	25,907	27,921	147	709	

〈船舶・海洋〉

受注



受注高 : 対前年同期 △918億円の減少(2,993億円→2,074億円)

- ・自動車運搬船9隻、LNG船2隻、コンテナ船2隻、LPG船2隻、カーフェリー2隻等、合計19隻を受注。
- ・新造船需要が引き続き高水準で推移しており、新造船契約残も十分なレベルを維持しているという状況の下、高付加価値船を中心に得意とする船種について受注活動を展開中。

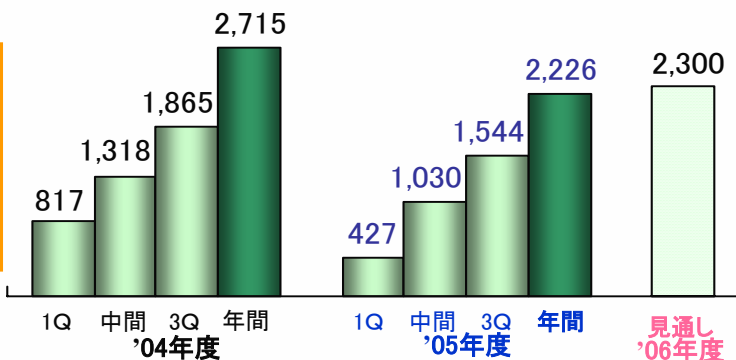
【受注隻数】

'04年度 : 23隻 (1Q:3隻 2Q:7隻 3Q:7隻 4Q:6隻)

'05年度 : 19隻 (1Q:4隻 2Q:3隻 3Q:6隻 4Q:6隻)

【契約残隻数 : 59隻(内、LNG船12隻)】

売上



売上/損益 : 対前年同期 △489億円/+11億円の減収増益

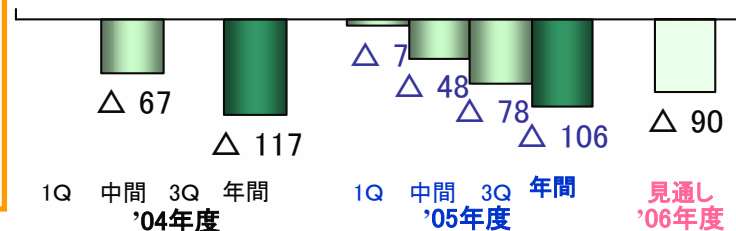
- ・当年度は自動車運搬船7隻、コンテナ船6隻、LNG船2隻、LPG船2隻等、計20隻の引渡しとなり、28隻を引き渡した前年度を△489億円下回った。

【引渡隻数】

'04年度 : 28隻 (1Q:7隻 2Q:5隻 3Q:3隻 4Q:13隻)

'05年度 : 20隻 (1Q:2隻 2Q:5隻 3Q:4隻 4Q: 9隻)

営業利益

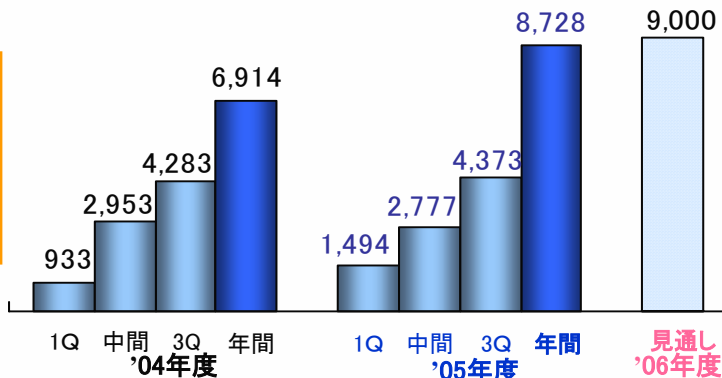


- ・前年度に引き続き、需要低迷時に受注した案件の売上が中心であり、鋼材等資材費高騰の影響も受けたため、損益は赤字となった。

〈原動機〉

(億円・各期の数値は累計)

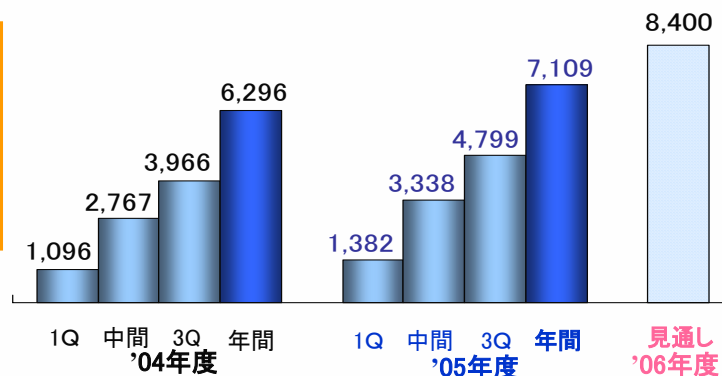
受注



受注高 : 対前年同期 +1,813億円の増加 (6,914億円→8,728億円)

- ・サウジアラビア向け大型発電・造水プラントを成約したのをはじめ、需要が堅調なアジアを中心に受注拡大に努めた結果、メキシコ、ベトナム、タイ、中国及びチリ向け大型火力発電プラントを受注。また、フランスの原子力発電所向け取替用蒸気発生器を初めて受注。
- ・国内では拡販活動が功を奏し、既納プラントの改良・改造・修理工事も増加。

売上



【ガスタービン契約残台数 (単独)】

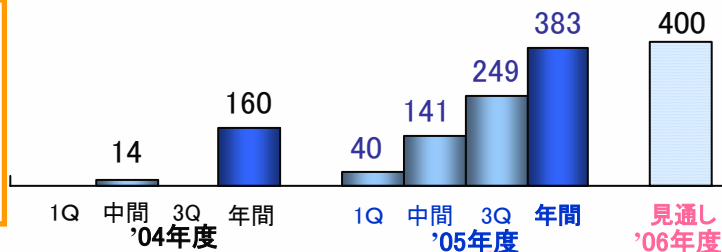
'04 : 1Q:57台 2Q:56台 3Q:56台 4Q: 71台

'05 : 1Q:70台 2Q:69台 3Q:72台 4Q: 75台

売上/損益 : 対前年同期 +813億円/+222億円の増収増益

- ・'03年度以降の好調な受注状況を反映し、大型火力発電プラント工事等が増加しており、売上高は前年度から+813億円の増収。
- ・売上増加に伴う利益の増加に加え、製品保証費用の減少、コスト低減により、損益は+222億円と大幅な改善となった。

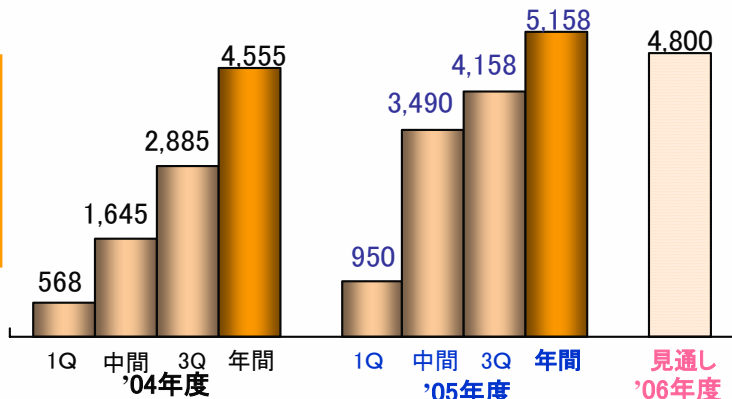
営業利益



〈機械・鉄構〉

(億円・各期の数値は累計)

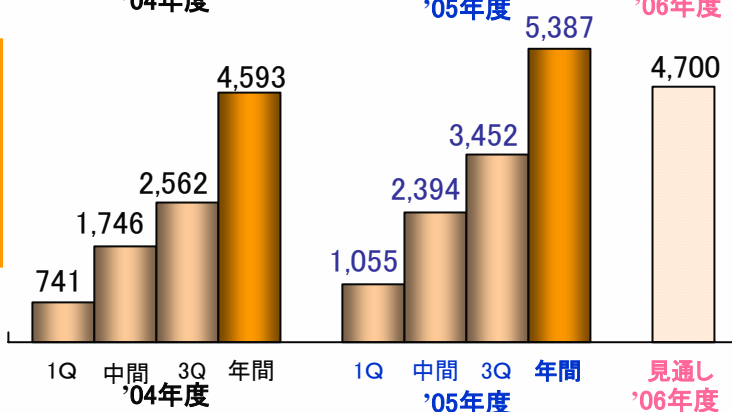
受注



受注高: 対前年同期 +602億円の増加 (4,555億円→5,158億円)

- ・国内では橋梁、廃棄物処理装置が減少したものの、ドバイ向け都市交通システム、サウジアラビア向け化学プラント等、大型案件を相次いで成約し、前年度を上回る受注高となった。

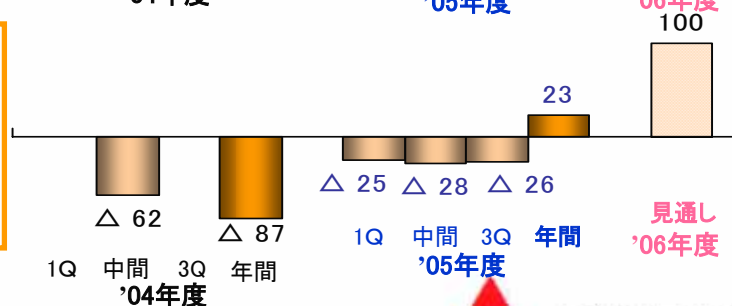
売上



売上/損益: 対前年同期 +793億円/+110億円の増収増益

- ・大型化学プラントの工事の進捗、製鉄機械の売上増加等により+793億円の増収。
- ・損益面では、工事量増加に伴い利益が回復し、前年度から+110億円改善。一部で不採算工事、仕様変更に伴う追加コストの発生等もあり、損益は依然として低水準に留まった。

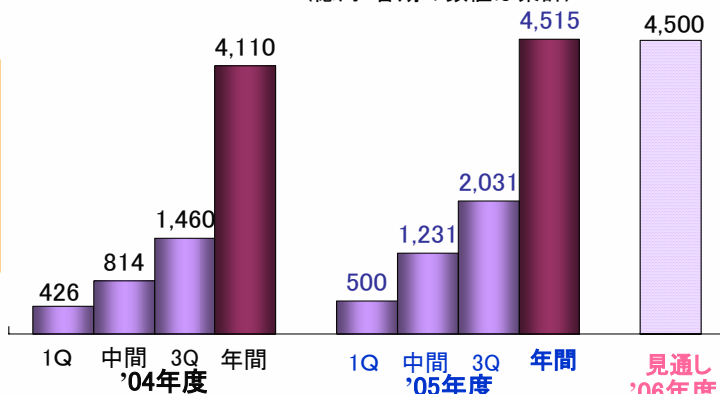
営業利益



〈航空・宇宙〉

(億円・各期の数値は累計)

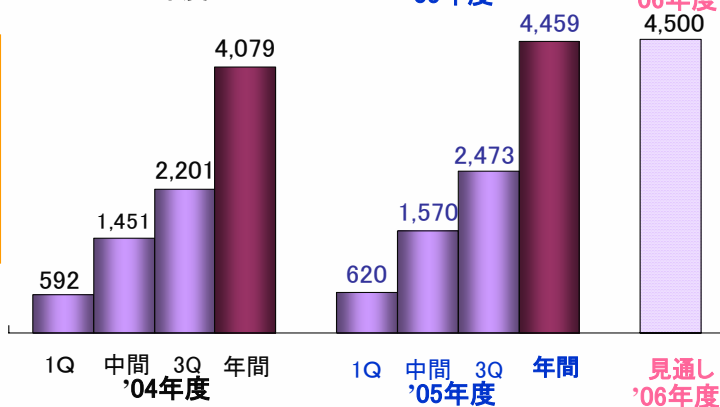
受注



受注高 : 対前年同期 +404億円の増加(4,110億円→4,515億円)

- ・航空旅客需要の回復を背景に、B787(主翼)及びB777(後部胴体等)等の受注が伸長したため、前年度を上回った。
- ・防衛関連も、BMD(弾道ミサイル防衛)システムの整備に伴い、新型のペトリオット(PAC-3ミサイル)を受注したため、前年度を上回った。

売上



売上/損益 : 対前年同期 +379億円/+77億円の増収増益

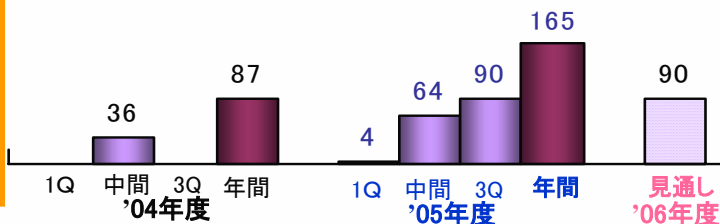
- ・B777を中心とする民間航空機の引渡機数増加等に伴い前年度から+379億円の増収。

【B777 引渡機数】

'04年度 : 39機(1Q: 8機 2Q:10機 3Q:9機 4Q:12機)

'05年度 : 49機(1Q:12機 2Q:13機 3Q:8機 4Q:16機)

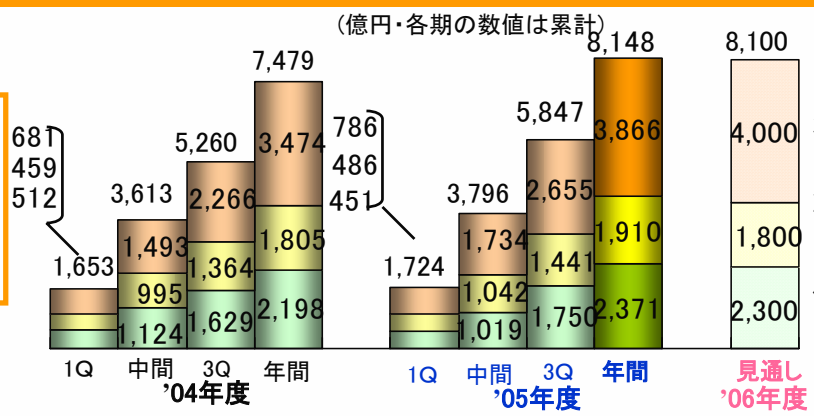
営業利益



- ・損益面では、売上の増加、費用低減の効果があったほか、為替の好転もあり、+77億円の増益となった。

〈中量産品〉

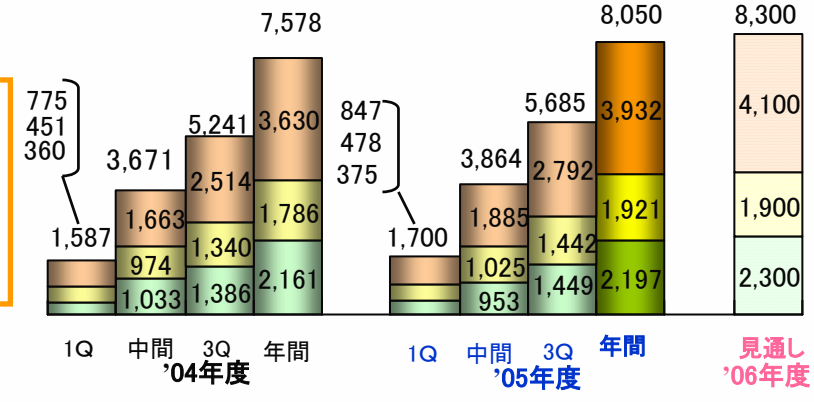
受注



受注高 : 対前年同期+668億円の増加 (7,479億円→8,148億円)

- 汎特、冷熱、産機いずれも前年度を上回る受注状況。
- ・汎特 フォークリフト、中小型エンジン、ターボ等の拡販効果により増加。
 - ・冷熱 カーエアコンを中心に増加。
 - ・産機 新聞用オフセット輪転機で大型案件を受注したほか、自動車産業向けの工作機械等が好調。

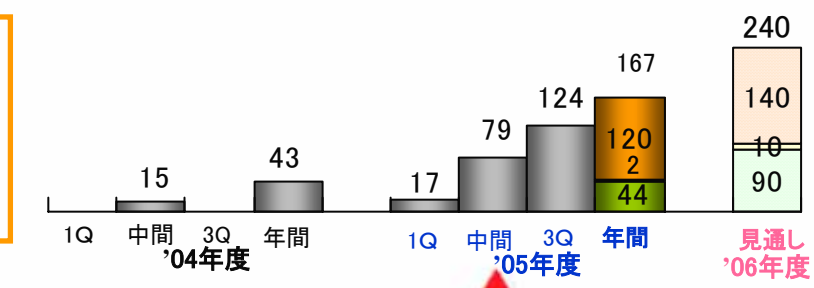
売上



売上/損益 : 対前年同期 +472億円/+124億円の増収増益

- 好調な受注に伴う売上規模の拡大により増収効果が
出ていることに加え、採算改善活動の推進、為替の好転
により、+124億円の増益となった。
- ・汎特 (売上+301億円)
フォークリフト、中小型エンジン、ターボとも増収。
 - ・冷熱 (売上+134億円)
カーエアコン、パッケージエアコンを中心に増収。
 - ・産機 (売上+35億円)
押出成形機、新聞用オフセット輪転機は減少したものの、
工作機械、枚葉機の伸びにより増収。

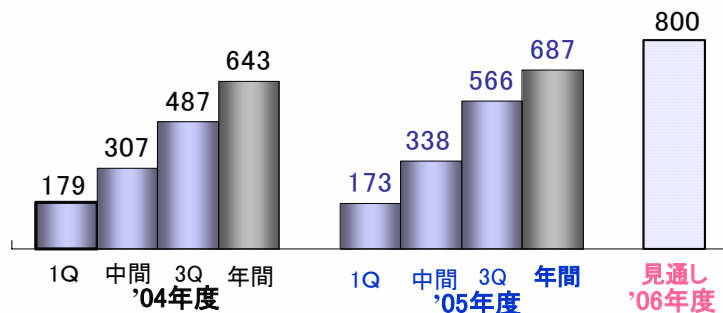
営業利益



〈その他〉

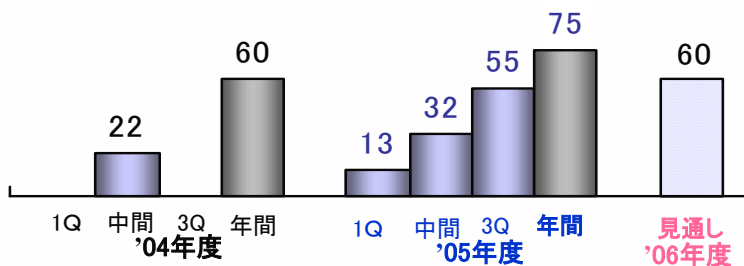
(億円・各期の数値は累計)

売上



・建築・不動産
・情報・通信サービス
他

営業利益



貸借対照表

(億円)

	'04年度末 (05.3.31)	'05年度末 (06.3.31)	増減
資産の部			
売上債権	10,488	10,974	+485
たな卸資産	9,585	9,715	+129
その他流動資産	4,582	4,745	+163
流動資産計	24,656	25,434	+778
固定資産計	13,654	15,036	+1,381
資産合計	38,311	40,471	+2,159
負債・資本の部			
買入債務	6,491	6,696	+205
前受金	3,634	3,348	△285
その他流動負債	5,553	6,221	+667
流動負債計	15,679	16,266	+586
固定負債計	9,379	10,263	+884
負債合計	25,059	26,530	+1,471
少数株主持分	152	177	+25
資本合計	13,099	13,762	+663
負債、少数株主持分 及び資本合計	38,311	40,471	+2,159
自己資本比率	34.2%	34.0%	△0.2%

投資有価証券 +893 他

短期借入金 +527 他

繰延税金負債 +782 他

利益剰余金 △227

その他有価証券
評価差額金 +829他

三菱自動車工業(株)について、平成17年12月に保有優先株式の普通株式への転換により議決権比率を16.1%として、同社を持分法適用関連会社としている。
これに伴い、同社株式について適用する評価基準が時価法から持分法となり、前年度末に計上した評価差額を振り戻した結果、その他有価証券評価差額金が209億円減少している。また、持分法適用開始時点において利益剰余金が400億円減少している。

キャッシュ・フロー，有利子負債

キャッシュ・フロー (億円)

	'04年度	'05年度	増減
営業CF	1,070	739	△ 331
投資CF	△ 1,633	△ 1,040	+592
フリーCF	△ 562	△ 301	+261
財務CF	579	79	△ 499

有利子負債 (億円)

	'04年度末 (05.3.31)	'05年度末 (06.3.31)	増減
有利子負債	11,728	11,986	+257

'05年度の概要

- ・営業キャッシュ・フローは、受注高・売上高が増加し、売上債権、棚卸資産など運転資金規模が増加したため、前年度から331億円減少し、739億円となった。
- ・投資キャッシュ・フローは、設備投資の増大による支出増加があったが、前年度は三菱自動車工業(株)の増資引き受けを実施していたことから592億円減少の1,040億円となった。
- ・この結果、フリー・キャッシュ・フローは301億円のマイナスとなった。(前年度からは261億円の増加)
- ・有利子負債は前年度から257億円増加。

補足資料(1)

1. 為替レート

(¥/US\$)

年度	'01年度		'02年度		'03年度		'04年度		'05年度	
	(中間)	(年度)	(中間)	(年度)	(中間)	(年度)	(中間)	(年度)	(中間)	(年度)
売上計上平均レート	119.7	122.3	122.5	122.4	119.1	113.0	110.7	108.7	109.5	111.3
(参考)期末日レート	119.4	133.3	122.6	120.2	111.3	105.7	111.1	107.4	113.2	117.5

2. 研究開発費

(億円)

年度	'01年度	'02年度	'03年度	'04年度	'05年度
研究開発費	1,185	1,094	995	1,240	1,007

3. 減価償却費・設備投資

(億円)

年度	'01年度	'02年度	'03年度	'04年度	'05年度
減価償却費	959	970	998	991	1,008
設備投資	1,097	1,191	1,098	1,122	1,405

補足資料(2)

4. 人員

(人)

年度	'01年度	'02年度	'03年度	'04年度	'05年度
(連結) 船舶・海洋	5,946	5,796	5,707	5,531	5,388
原動機	14,163	13,949	13,665	13,749	14,218
機械・鉄構	8,445	8,136	8,121	7,839	8,998
航空・宇宙	7,615	7,504	7,374	7,314	7,712
中量産品	17,935	17,346	16,203	16,154	16,930
その他	8,649	8,561	8,879	8,653	8,966
合計	62,753	61,292	59,949	59,240	62,212
(単独) 合計	36,692	35,530	34,396	33,500	32,627

5. 海外地域別売上高

(億円)

年度	'01年度	'02年度	'03年度	'04年度	'05年度
(連結) 北米	3,465 (34%)	2,712 (32%)	2,621 (29%)	2,655 (25%)	3,225 (26%)
中南米	1,573 (15%)	684 (8%)	951 (11%)	1,471 (14%)	1,085 (9%)
アジア	1,882 (19%)	2,127 (26%)	3,246 (36%)	4,168 (40%)	5,224 (42%)
中東	1,210 (12%)	555 (7%)	408 (5%)	281 (3%)	572 (5%)
欧州	1,710 (17%)	1,930 (23%)	1,196 (13%)	1,623 (15%)	1,828 (15%)
その他	346 (3%)	368 (4%)	502 (6%)	293 (3%)	322 (3%)
合計	10,187 (100%)	8,378 (100%)	8,926 (100%)	10,493 (100%)	12,259 (100%)

•欧州は'04年度よりロシア・東欧を含む

Ⅱ. 2006年度業績見通し

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

業績見通しサマリー

(単位: 億円)

	'05年度 (実績)	'06年度 (見通し)
受注高	29,420	29,500
売上高	27,921	29,000
営業利益	709	800
経常利益	503	630
税引前 当年度純利益	523	630
当年度純利益	298	400

◇為替は1ドル=@¥112, 1ユーロ=@¥138の前提(未確定17億ドル, 2億ユーロ)

業績見通し セグメント別

(単位: 億円)

	受 注		売 上		営業利益		
	'05年度	'06年度 見通し	'05年度	'06年度 見通し	'05年度	'06年度 見通し	
船 舶 ・ 海 洋	2,074	2,400	2,226	2,300	△ 106	△ 90	
原 動 機	8,728	9,000	7,109	8,400	383	400	
機 械 ・ 鉄 構	5,158	4,800	5,387	4,700	23	100	
航 空 ・ 宇 宙	4,515	4,500	4,459	4,500	165	90	
中 量 産 品	汎 特	3,866	4,000	3,932	4,100	120	140
	冷 熱	1,910	1,800	1,921	1,900	2	10
	産 機	2,371	2,300	2,197	2,300	44	90
そ の 他	796	700	687	800	75	60	
合 計	29,420	29,500	27,921	29,000	709	800	

<補足> [単独]2005年度決算実績サマリー

(億円)

	'04年度	'05年度	増減
受注高	22,020	23,183	+1,162
売上高	20,979	22,067	+1,088
営業利益	△ 97	382	+479
経常利益	△ 96	324	+420
特別損益	99	29	△ 69
税引前利益	2	353	+350
当年度純利益	△ 20	261	+282

<補足> [単独]2006年度業績見通しサマリー

(単位:億円)

	'05年度 (実績)	'06年度 (見通し)
受 注 高	23,183	23,000
売 上 高	22,067	22,500
営 業 利 益	382	600
経 常 利 益	324	500
税 引 前 利 益	353	500
当年度純利益	261	300

◇配当は年間6円(中間3円)を予定